



文化のつどい&しもつけジュニア夢芸術文化祭

8月20・21日、国分寺公民館において、下野市文化協会創立10周年記念事業（栃木県文化協会共済事業）「文化のつどい&しもつけジュニア夢芸術文化祭」を開催しました。記念式典では、楽唱会の小玉幸枝氏と陶芸クラブの戸沢茂氏に「功績賞」が文化協会から贈られました。

また、文化のつどいでは、とちぎ未来大使として活躍中のピアニスト、岩下淳子氏のピアノコンサートが行われ、素晴らしい演奏で多くの観客を魅了しました。県立小山高校吹奏楽部による演奏では、演奏後には大きな拍手が巻き起こりました。

しもつけジュニア夢芸術文化祭の展示部門では、いけばなや書道、デザイン画など65点の作品が展示され、ステージ部門では、バレエ、ヒップホップダンス、空手演武や琴演奏などバラエティに富んだ11組による素晴らしい演技が披露されました。

展示部門、ステージ部門ともに、子ども達の日頃からの練習の成果が存分に発揮されました。会場に訪れた多くの来場者を楽しませ、笑顔に包まれた有意義な二日間になりました。



東田橋が開通しました

平成23年度から整備を進めてきた、姿川に架かる東田橋の架替工事が完成し、8月21日午前9時から開通式が行われました。

開通式には、地元関係者や広瀬市長などが出席し、安全祈願を行い、上台地区在住の3組の夫婦を先頭に渡り初めを行いました。また、石橋中学校吹奏楽部によるマーチング演奏が披露され、開通式に華を添えました。

旧東田橋は、昭和42年に架けられましたが、耐震基準を満たすことが出来ないことや、歩道がなく石橋中学校への通学に危険であることなどから、全長72.6m、幅員10mの新しい橋に架け替えました。これにより安全で円滑な交通が確保されるとともに地域の利便性の向上が期待されます。



防災功労者内閣総理大臣表彰

下野市消防団が受賞しました

9月12日、内閣総理大臣官邸において平成28年防災功労者内閣総理大臣表彰が行われ、下野市消防団が防災功労団体として表彰を受けられました。

同消防団については、平成27年9月に発生した関東・東北豪雨災害に際し、住民の避難誘導、河川の越流箇所等に土のう積みの水防活動を行い、被害の軽減に多大な貢献をしました。昼夜を問わずに行った災害時における防災活動の功績が認められ今回の受賞に至りました。

